



# みなみやま

発行責任者 / 井手 宏 編集発行 / 愛知国際病院内・病院だより委員会  
〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31 ☎(0561)73-7721

## 愛泉館ってどんなところ？

老人保健施設愛泉館 事務長 大山 英之

〈愛泉館とは〉

介護施設には、介護老人福祉施設や介護老人保健施設、有料老人ホームなどがあります。

愛泉館は介護老人保健施設ですので「ろうけん」と呼ばれています。

「ろうけん＝介護老人保健施設」とは、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまでを併せて提供する施設です。ご利用



者一人ひとりの状態や目標に合わせたケアサービスを、医師をはじめとする専門スタッフが行

い、夜間でも安心できる体制を整えています。また地域とのかかわりを大切に、ご利用者のニーズにきめ細かく応えるように努めています。介護予防を含めた運動など幅広い活動を通じ、在宅ケア支援の拠点となることを目指して、ご利用者、ご家族のみなさまが、自分らしい生活を送れるように支援しています。

私たちはご利用者を「ゲスト」とお呼びします。幾年を懸命に生きてこられた人生の大先輩に対する尊敬の念と、多くの施設の中から当施設を選んでいただいたという感謝を忘れないためです。

〈五つの理念〉

1. キリスト教精神を基盤とし、高齢者を敬い、愛を持って仕える
2. 本人の自己決定を重んじる
3. 在宅介護支援の施設であること
4. 地域に根ざした、開かれた施設運営を目指す
5. ADL（日常生活動作）の向上とともに、QOL（生活の質）の向上を目指す

ゲストの尊厳を守り、安全に配慮しながら生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。家族や地域の人びとと協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援させていただきます。

〈ボランティア〉

「地域に根ざした、開かれた施設運営を目指す」この運営理念を実現するために、開設当初よりボランティアコーディネーターを専任で置き、積極的に地域とのかかわりを深めてきました。パッチワーク、布ぞうり作り、讃美歌、詩吟、書道など、さまざまなプログラムにボランティアの関わりがあります。ボランティアの働き一つひとつがゲストの生活、楽しみを支えてくださっています。

1992年4月に開設し、ゲスト、ご家族のみなさまをはじめ地域のみなさまに支えられ、今年で20年目を迎えることができました。

超高齢社会を迎えようとしているなかで、愛泉館の役割と理念を忘れることなく、ゲストやご家族、地域のみなさまに必要とされる施設となるようにケアを行ってまいります。また穏やかな生活をお送りいただきながら、ご自宅での生活も支障なく継続できるよう、充実したりハビリを提供できる環境を整えてまいります。

ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



## 愛泉館からのお知らせ

### 『愛泉館文化祭』開催のご案内

愛泉館では開設以来、ゲストの皆様を始め、ボランティアの方々による手工芸や書道などの素晴らしい作品がたくさん生まれています。また、日頃より『いろいろやりタイム～趣味の時間～』の時間などで、作品づくりに励んでいらっしゃる方々の素晴らしい作品

を、たくさんの方々にご覧いただく機会として今年も1週間かけて『文化祭』を行います。

病院にお越しのうちに、ご見学いただきたくご案内申し上げます。詳しくは愛泉館にお尋ねください。（電話 0561-74-1711）

尚、『文化祭』期間中は作品の展示だけではなく、コンサートなど様々な催しが予定されていますので、お楽しみに…。

# 健康アラカルト

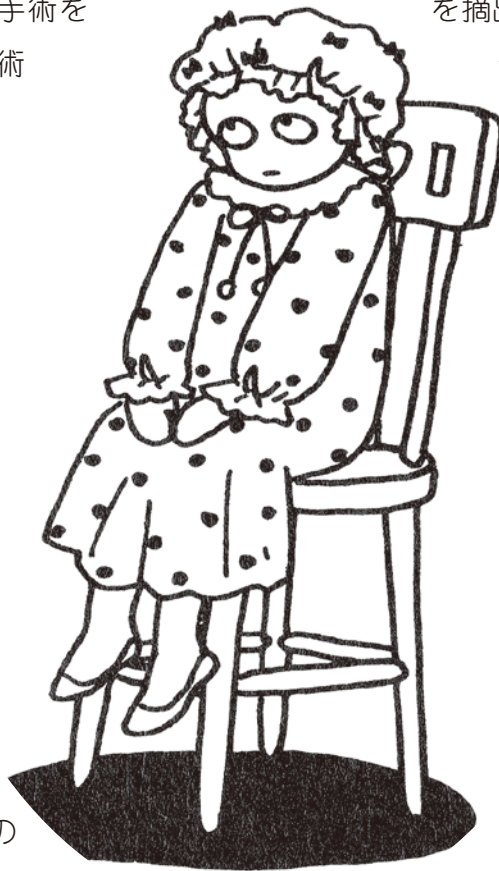
## 胃腸の話 61

お腹に傷を付けない手術 ～自然開口部越経管腔的内視鏡手術～

副院長(消化器科) 太田 信吉

お腹に3つから4つほどの穴をあけ、腹腔鏡を用いて胆のうを摘出したり、大腸や胃を切除したり、ヘルニアの手術をしたりと内視鏡を用いた手術が最近では当たり前のように行われています。腹腔鏡による胆のう摘出術が日本で行われ始めたのは1990年頃ですので、目覚ましい進歩と言えるでしょう。最初の頃は間違っただん管を切除したり、腹腔鏡の手術にこだわるあまり出血多量で亡くなってしまうなど、大きな犠牲も払われました。今ではほとんどの開腹手術がこの腹腔鏡を用いて可能となってきています。現在でも、安全かつ負担が少ないように、たゆまない努力が行われています。最近では、腹腔鏡でやるのだから傷は可能な限り目立たないようにということで、カメラを入れる穴、器具を操作する穴の3～4つの穴をお腹に開ける方法から、鉗子とカメラを同じ穴から挿入して行う方法

が考えられました。単孔式胆のう摘出術といって穴にへそを使います。操作をする鉗子の間に角度が少ないので熟練が必要となります。更に傷のない方法ですと、胃や膈など体の中にある穴(自然の口)を通して胆のうを摘出する方法まで出てきました。長いのですが自然開口部越経管腔的内視鏡手術(natural orifice transluminal endoscopic surgery; NOTES)というのが正式な名前です。胃に小さながんがある場合に胃カメラでそのがんを摘出することは多く行われてい



ます。これを応用してそのまま胃に穴をあけて、胃カメラをお腹の中まで入れ、胆のうを摘出すると言うものです。実際に2007年にアメリカやフランスで経胃的や経膈的な胆のう摘出が行われました。2007年11月に日本で研究会ができ、徐々に日本でも行われるようになっていきます。操作を行うための器具の開発、開けた穴からのお腹の中への感染の可能性の排除、機器操作の

練度向上に訓練方法の確立など、課題も多いです。しかし腹部を傷つけない非侵襲的(体への負担が少ない)な手術の方法は、遠くないうちに当たり前の時代がくるのかも知れません。

# AHIからのお知らせ

## フィリピン・カンボジア巡回交流 受け入れ募集

フィリピンとカンボジアの村から、あなたの町に元研修生と彼らの活動パートナー、村の世話役おじさんが訪問します。

彼らとの交流を通し、平和について一緒に考えてみませんか。

期間：2013年3月10日(日)～17日(日)

費用：交通費はAHIが負担します。

\*原則、フィリピンチーム、カンボジアチームに分かれて行動します。

それぞれ職員1名が同行します。

お問合せ：アジア保健研修所(AHI) 担当：林

### \*話し手のご紹介\*

ーフィリピンー

**デデットさん** (女性・1959年生 2006年  
国際研修参加)

フィリピン南部のバシラン州にあるNGOの代表。

人口の70%以上がイスラム教徒である地域で、地域のリーダー育成による地域づくり、草の根から平和を作り出すことに取り組んでいる。

**エルビスさん** (男性・1960年生)

バシラン州にある農民組織のリーダー。現在はバシラン州ラミタン市の市議会事務局に勤務。カトリック教会の青年活動を経て、デデットさんが運営するリーダーシップトレーニングに参加。地域づくりに関わる。

ーカンボジアー

**カンナロさん** (男性・1965年生 2001年  
国際研修参加)

カンボジアのNGOの代表。

幼少期にはポルポト派の少年兵として過ごした時期もある。その後難民キャンプで教育を受け、NGOの仕事に携わるようになった。自らの経験を踏まえ「一人ひとりが考え、行動する主体になること」をモットーに、平和づくりをめざしている。

**ピエンさん** (男性・1951年生)

カンボジア北部のシエムリアップ州に在住。自治体の評議会議長を務める。

カンナロさんたちのNGOの支援を受け「紛争解決委員会」(conflict resolution committee)を立ち上げる。個人の不満や問題を有力者に頼らず、当事者や地域の人たちの話し合いを通じて解決を図っている。

### 賛助会員募集のお知らせ

愛知国際病院ホスピスでは、賛助会員を募集しています。アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、ホスピス相談の充実、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年4回の「みなみやま」年2回の「ホスピスだより」をお送りいたします)

入会  
方法

下記の口座に会費をお振り込み下さい。

郵便振替口座 00890-5-3757

口座名義 愛知国際病院ホスピス賛助会

ー口 1000円(おいくらでも結構ですが、できたら5口以上でお願いいたします。)

## 初穂の言いたい放題

小児科 井手 初穂

人生に必要な知恵は

すべて幼稚園の砂場で学んだ

これは、ロバート フルガムというアメリカ人の書いたエッセイです。

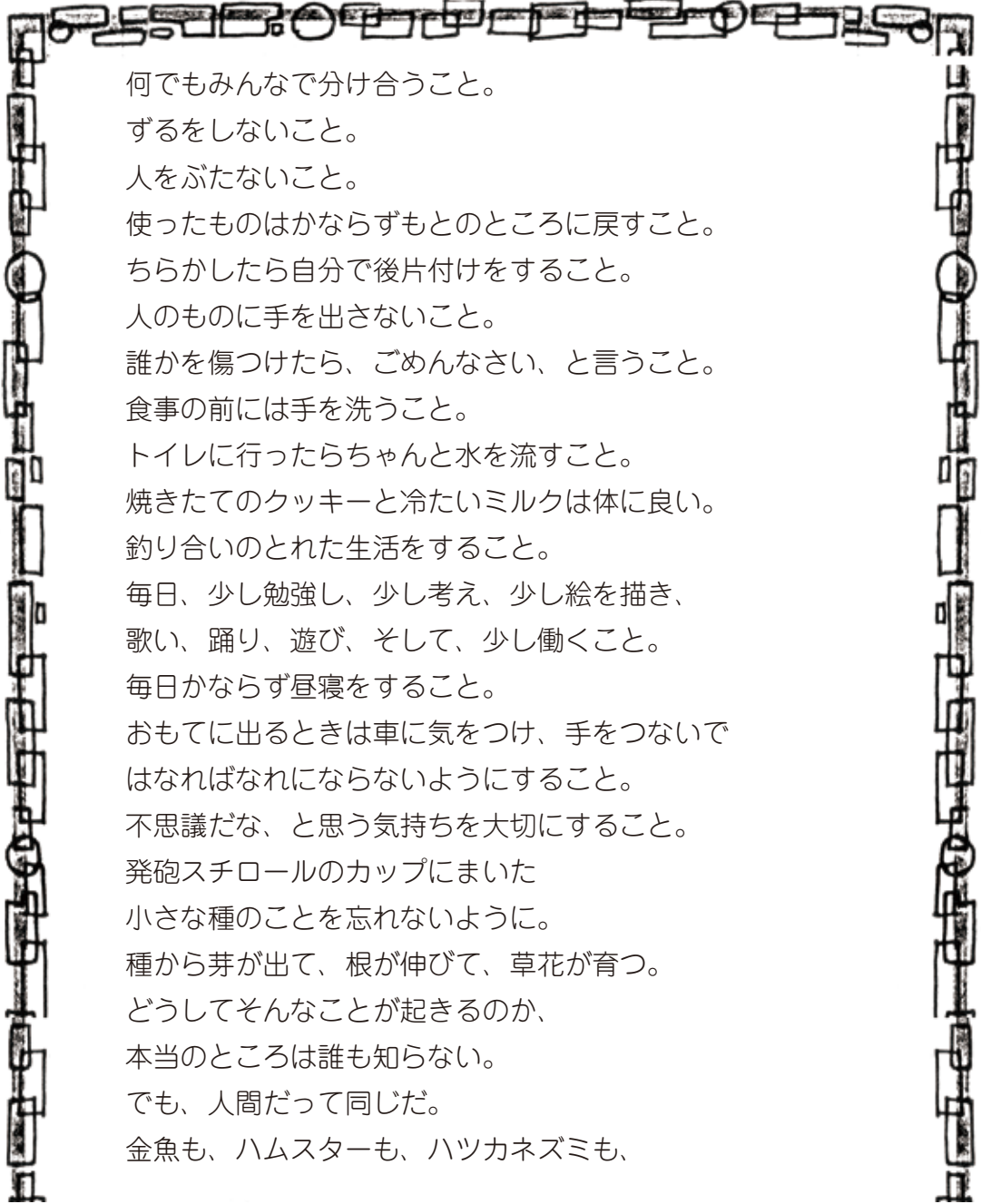
その中に書かれている詩の部分をご紹介します

ます。

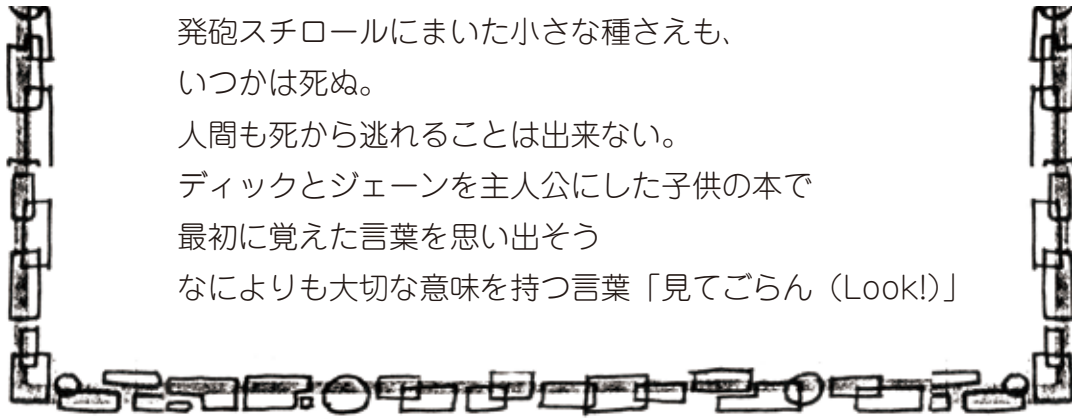
いつも子育て講演会でお話をするときに朗読しています。

おとなに成長したはずが、ここに書かれている、とても大切なことが、おとなになるとできなくなります。

私も、これを読んだとき、はっとして、どきっとしました。解説や、意見など必要のない詩です。読んでみてください。



何でもみんなで分け合うこと。  
ずるをしないこと。  
人をぶたないこと。  
使ったものはかならずもとのところに戻すこと。  
ちらかしたら自分で後片付けをすること。  
人のものに手を出さないこと。  
誰かを傷つけたら、ごめんなさい、と言うこと。  
食事の前には手を洗うこと。  
トイレに行ったらちゃんと水を流すこと。  
焼きたてのクッキーと冷たいミルクは体に良い。  
釣り合いのとれた生活をする事。  
毎日、少し勉強し、少し考え、少し絵を描き、  
歌い、踊り、遊び、そして、少し働くこと。  
毎日かならず昼寝をすること。  
おもてに出るときは車に気をつけ、手をつないで  
はなればなれにならないようにすること。  
不思議だな、と思う気持ちを大切にすること。  
発砲スチロールのカップにまいた  
小さな種のことを忘れないように。  
種から芽が出て、根が伸びて、草花が育つ。  
どうしてそんなことが起きるのか、  
本当のところは誰も知らない。  
でも、人間だって同じだ。  
金魚も、ハムスターも、ハツカネズミも、



発砲スチロールにまいた小さな種さえも、  
いつかは死ぬ。  
人間も死から逃れることは出来ない。  
ディックとジェーンを主人公にした子供の本で  
最初に覚えた言葉を思い出そう  
なによりも大切な意味を持つ言葉「見てごらん (Look!)」

## 紫苑からのお知らせ

ボランティアコーディネーター 高田 清子

ホスピスではボランティア犬「ナイト」が活動しています。ナイトは13歳の引退した盲導犬で、現在の飼い主であるボランティアに連れられて、毎週一緒にやってきます。午前中はボランティアルームで待機、午後2時頃になると、ホスピス2階のラウンジにボランティアと一緒に上がります。定位置は電子ピアノの足元で、ちょうど盲導犬が盲人

の方の足元でおとなしく眠っているように、時々しっぽを動かしたり、耳をそばだてたりしながら、のんびりと寝そべっています。ラウンジにはいろいろな方が立ち寄りますが、そんなナイトの姿にほっとされるのか、足を止めてしばらく眺めていたり、体をなでて下さることも少なくありません。飼い主の方によれば、盲導犬は人間のそばにいるのがいけば安心するのだそうです。ナイトもまた、ラウンジのピアノの音や足音、人の声を聞いてほっとしているのかと思うと嬉しくなります。これからも長く活躍してほしいと願っています。

- ・秋の足音が聞こえてからしばらくたちました。日本の紅葉は本当にうつくしい。
- ・インフルエンザの予防接種は接種後一月ほどたたないと効果があらわれません。  
ご希望の方はお早めにお済ませ下さい。
- ・当院のホームページは、スマートフォンにも対応しています。  
お持ちの方はぜひ一度ご覧下さい。

これまでお寄せ頂いているご意見・ご感想、大変感謝致しております。今後ともよろしく願い申し上げます。

宛先は

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31 愛知国際病院内「みなみやま」編集部  
電子メールの場合、アドレスは m.kondo@aisen-kai.jp です。お待ちいたしております。

編集長 近藤正嗣